

指導教員	白松 俊
研究室から一言	「大規模言語モデルの実社会応用やシビックテックに興味がある」 「人間社会の合意形成手法をアップデートしたい」という人、ぜひ！
研究テーマ: 大規模言語モデルでコラボレーション(合意形成やシビックテック)を支援	
白松研では、 自然言語処理 や ナレッジグラフ といった技術を応用して、合意形成やシビックテックなど組織の壁を越えたコラボレーションに使えるようなシステムを研究・開発しています。特に 大規模言語モデル (LLM) を 実社会の課題解決に活用する手法 を研究しています。なぜかと言うと、人々がAIにポジションを奪われるディストピアではなく、 AIが人々の能力をブーストして幸せにする社会を実現したい からです。例えば、AI相手に人間がファシリテーションを練習できるシステムを開発し、昨年8月の中日新聞朝刊で紹介されました。議論参加の練習ができる議論シミュレータも開発するうちに、LLMに人間らしい議論参加態度を演じさせることの難しさが明らかに。そこで、「 LLMの認知バイアスをいかに制御するか? 」という課題にも挑戦しています。他にも、 ユーザのメンタルケアやコーチング、聴き取り をしてくれる 対話システム も開発中です。ぜひ一度覗いてみて下さい！	
研究室見学会 場所: 2号館B棟2階202B	
研究室見学会 日時 (他の日時を希望する方は、 siramatu@nitech.ac.jp まで。応相談) 10/11(金)13:00, 10/15(火) 14:40, 10/16(水)13:00, 10/22(火)14:40, 10/23(水)12:30	
定員超過の場合の選考基準: 面接にて総合的に選考	

LLM相手に議論参加の練習ができる議論シミュレータ

LLMが新たな観点から意見する対面議論支援システム

就活生のコーチングをする対話システム

メンタル危機の検出ボット

2023年8月4日中日新聞朝刊 LLMを相手にファシリテーションの練習をするワークショップの記事